

## 説明会での補足（凡例と注意事項 PART II）

### ◆ルビ

・ルビは基本的に「できるだけたくさん」つける（常用漢字以外には必ず。なお常用漢字でも難読のものにはルビをつける）。

（例）天蓋（てんがい）、注連柱（しめばしら）、木屎漆（こくそうるし）、比売神（ひめかみ）、忍辱山（にんにくせん）、大川（おおこ）遺跡、二塚（ふたつか）古墳、立里（たてり）など。

・常用漢字かどうかは、無料の Web サイト「常用漢字チェッカー」で確認する。

・諸説あるものは複数書く。天乃石立（あまのいわたて／あめのいわち）神社など。

・ルビは本文ではなく、別紙に書く（文字カウントの都合上）。

### ◆神社、寺院

・各社寺には「所在地」を書くが、その場合「番地」まで書く。寺の「山号」は不要。

・祭神名は、当該神社の説を優先（尊重）して書く。異説がある場合は、その旨注記して両方を書く。

・エビデンスはないが寺社が主張する事項は、「寺伝（社伝）によれば…」等として紹介する。

（例）〇〇天満宮（奈良市）「社伝によれば、日本最古の天満宮とされる」。

・各社寺には、新テキストに掲載することを伝え、あらかじめ承諾を得ておく。執筆者だけで手が回らない場合は、担当編集者に相談して協力を仰ぐ。

・「やまとの神さま」および『奈良百寺巡礼』掲載の県内社寺は、基本的に掲載したいが、スペースの関係上、一部は「一覧表」に回し、メリハリをつける（カットしても良い）。

### ◆本文の書き方

・ほとんどのジャンルに、複数の執筆者がいる。掲載する内容の取捨選択は、執筆者同士および担当編集者と相談して決めてほしい（チーム内で相談して、決定する）。

・和暦（元号）と西暦は併記し「天正 15 年（1587）」のように書く。なお令和に入ってから西暦は省略する。

・書籍名・映画の題名は『 』でくくる。

・雑誌・新聞・放送番組名・芸能の演目名は「 」でくくる。

・本文には「メリハリ」をつける。重要なものは本文中に詳しく書く、そうでないものは「一覧表」（別紙）にする（2 級・1 級受験者には、重要かどうかの区別がつかない。「初学者に親切」なテキストをめざす）。

・鉄田が 1 級の認定支援セミナーに出席したとき、会場から「テキストに載る古墳の数が多すぎます。すべて覚えなさいといけませんか？」という質問があった。講師は「特徴のある古墳が出題されます。特徴のあるものを覚えてください」と回答。しかし 2 級に合格したばかりの身には「何が特徴か、判断がつかない。そもそも特徴のない古墳はテキストに載せるべきではない」と思った。特徴のない古墳は不掲載とするか一覧表にしたい。

（過去問が、判断材料になる＝当会の HP 参照 <https://stomo.jp/juken/q/>）

・「一覧表」（別紙に記載する）のフォーマットは、別途送付。

・新テキストが対象とする読者は「全くの初心者」および「2 級合格者」。レベルは高くしない、詳しくしすぎない。とっつきやすいテキストをめざす（ソムリエ受験者は、テキスト読者の対象外）。

- ・当会 HP の「奈良検定選択問題過去問集」  
(1 級・2 級／分野別) はスグレモノ。これを参考にして、項目を選び、本文を書く。

<https://stomo.jp/juken/q/>

(頻出部分を重点的に書く)。

- ・過去に 1 級・2 級の「特集問題」で出題されたところは、出題者が考える「要所」。ここは重点的に書く (上記過去問集に掲載)。

- ・当会 HP の「ズバリ！奈良検定 2 級の要点整理」も、参考に (重要事項を網羅している)。

[https://stomo.jp/pdf/kentei2\\_2026.pdf](https://stomo.jp/pdf/kentei2_2026.pdf)

- ・本文 (20 字×36 行×2 段) は「MS 明朝体 10.5P」で書く。見出しは同太字とする。

- ・旧テキストには間違いが多い。「正誤表」を送るので、それを参考にして正しい情報を書くように。

- ・最新の学説も取り入れる。(例) 薬子の変は、最近では、「平城上皇の変」と呼ばれる。

- ・「文学」に掲載の万葉歌 (約 40 首) は、すべて差し替えても良い (旧テキストの万葉歌は、教科書的な地域別の羅列に過ぎない)。その場合、追加する歌は『奈良万葉の旅百首』から選んでほしい (秀歌を選んでいる)。

- ・「文学」の近現代文学は、著名なもの、文学的価値の高いものを選ぶ (読むことで奈良に関する理解が深まるものを選ぶ)。

- ・歌舞伎や文楽のうち奈良に因んだ演目は、「文学」に載せることとするが、「ユネスコの無形文化遺産」にも選ばれているので、その旨を簡単に「世界遺産」のところにも書いておく。

- ・「食と食文化」と「特産品」も、一部、ダブっても良い。

- ・図版やイラストは、出版社と相談して制作するので、執筆者は別紙に「〇〇の図版制作希望」とし、希望する内容を書いておく。